

扶桑菅廟最初

防府天満宮

佐加太利とは御鎮座地天神山の古来名「酒垂山」からとったものです

# 佐加太利

令和8年  
春夏号  
117号

目次

1

点描／夜の花回廊  
本年は防府市市制施行九十周年をお祝いして大石段上からも楽しめる特別バーションの花回廊を実施した。

2

巻頭言

3

式年大祭奉賛会第四回総会

7・6・5・4

御神忌千百二十五年  
式年大祭記念行事報告

8

防府天満宮×キットカット  
受験生応援下ローションショー  
御神忌千百二十五年式年大祭  
記念事業進捗状況

9

崇敬会だより  
結婚おめでとう  
おんな神輿写真コンテスト

11・10

社務所だより  
天神様の冬から春々日誌抄々

12

これからの祭事行事案内



# 式年大祭

# 時を越えて花は開く

宮司 鈴木宏明

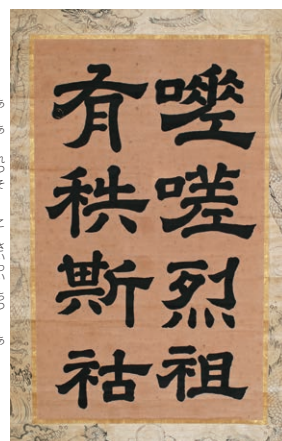
天神山公園は御神忌一〇五〇年式年大祭(昭和二十七年)に防府市の都市計画公園として整備され、御神忌一〇七五年式年大祭(昭和五十二年)には天神山に一年中四季の花が絶えないようにと多くの梅、桜、さつきなどが植樹されました。その花たちは時を越えて今年の春も綺麗に咲き誇り、多くの参拝者の目を楽しませてくれました。

そして愈々来年の三月三十一日は二十五年ごとに斎行する「御神忌一一二五年式年大祭」を迎えます。「御神忌一一二五年式年大祭」とは道真公が薨去され、言い換えれば天神様となられて一一二五年目の大きな節目のお祭りです。これまでの式年祭では道真公の遺徳を偲び顕彰、将来に繋がる事業を行ってまいりました。前回の千百年式年大祭では「茶聖菅公」を称え茶室「芳松庵」を建設し、今ではすっかり天満宮の顔となりました。

この度の式年大祭も奉賛会の皆様のお力添えにより、募財活動をはじめ記念事業等その準備も順調に進んでいるところであります。特に中心的事業である「一万人裸坊奉仕を目指して」では裸坊の勢いを企業会社の勢いに、企業会社の勢いを防府市の力に！との思いのもと、本年度市制施行九〇周年を迎えた防府市と防府商工会議所が一体となり「一万人裸坊実行委員会」を組織し、「あなたで一万人」を合言葉に市内外の企業にも裸坊参加を呼びかけています。今秋には必ずや裸坊一万人を達成し市制施行九〇周年に花を添えたいと考えております。そして今後更なる発展を遂げる防府市と共に時を越えて「一万人の裸坊が『兄弟わっしょい』の掛け声とともに威勢よく神輿を担ぎ、御網代輿を曳く姿」を道真公にお見せすることこそ「この地未だ帝土を離れず 願わくば居をこの所に占めん」と誓われた防府の天神様のお心にお応えすることだと思えます。

この佳き時に氏子崇敬者また関係団体の方々と共に力を合わせ、来春には桜花満開のもと、防府の天神様に喜んで頂ける御神忌一一二五年式年大祭が盛大裡に斎行されることを願ってやみません。

高辻俊長は、江戸時代後期の公卿。少納言・文章博士・式部大輔を歴任。扁額の原文は、「詩経」(中国最古の詩篇)の商頌の烈祖に所収される語である。烈祖すなわち菅公を指し、今ある祐(幸福)は、菅公の積み上げられた高德のお陰であると、この「詩経」の語を借りて表現したもの。幸いなことに扁額の草稿(左写真)は宝物として大切に遺されている。



▶ 釈文 「有秩斯祖」



▲ 楼門裏に掲げられた扁額(○印) 昭和18年頃

## 宝物紹介 ～まづめ石～ 御神忌900年式年大祭奉納 「扁額」

御神忌九百年大祭(1802)に奉納された扁額。題字は菅公が遠祖にあたる高辻俊長(1779～1811)の筆によるもの。楼門裏に掲げられていたが(写真右)、昭和27年の火災にて焼失した。

宝物紹介～まづめ石～について…石積みは、大きな石と小さな石(=間詰石)で構成され強固なものとなります。同様に神社の信仰も指定の有無に関わらず奉納された多くの宝物により支えられています。

# 令和九年菅原道真公 御神忌千百二十五式年大祭奉賛会

## 第四回総会開催

四月二十三日、奉賛会総裁をはじめ役員、会員、並びに総代等七十五名に出席いただき、標記総会を開催致しました。議事では会則に則り羽嶋会長が議長を務め、奉賛会を構成する六つの部会より一年間の事業活動と今後の予定が報告されました。引き続き監査報告並びに会計報告が行われ全員の拍手をもって承認されました。

閉会後は、萩焼作家新庄貞嗣先生により「萩焼と私」と題された記念講演が行われました。先生は千百年大祭に引き続き本式年大祭に作品をご奉納いただきました。



▲新庄貞嗣先生による講演は、新庄家をはじめ萩焼作家の名家の系図説明を中心に、萩焼の原材料となる土や釉薬を参加者に回覧し、分かりやすくお話し頂きました。

### 各部報告

#### ◆総務部会

協正典部会長

記念誌の具体的な内容に触れた他、大祭式典中の記念講演講師の選定を、天満宮に縁ある方々を中心に進めていると説明した。

#### ◆募財部会

嶋本博部会長（一般募財）  
白石民彦部会長（氏子募財）

募財の達成率は三月末現在、目標の九十二%である旨報告がなされた上で、大祭まであと一年しかないことから目標額を目指して職員とともに氏子区域の内外への積極的なお願いに向くなどの方針が示された。

#### ◆広報部会

板村至部会長

二十五年後を見据えて、(株)丸久、(株)井上商店により広報のために開発した商品の売り上げの一部が恒久的な募財として奉納され、更に他の企業からも同様の申し出をいただいている旨、説明報告した。

#### ◆祭典部会

村田敏夫部会長

二十五年に一度の節目を迎えるにあたり、既存の祭事のブラッシュアップを図っていくと説明した。

#### ◆事業部会

小松宗介部会長

各事業は順調に進んでいる旨説明。また、「裸坊祭奉仕一人」を目指して、防府市や商工会議所がその実現に向けて取り組んでいると説明報告した。

#### ◆行事部会

山根耕太郎部会長

大祭期間中は四十二の記念行事を行う予定の旨説明。そのうち、「表参道へのタペストリー設置」「菅公ジュニアミステリッツァー」「シニアコレクション」については、防府市が取り組む事業として進めていき、「タイムカプセル」については防府青年会議所が取り組んでいくと報告、地域が一体となって大祭に向けて動いている旨を説明した。

# 御神忌千百二十五式年大祭 御奉賛状況

御奉賛有難う存じます  
(令和七年十一月十六日・令和八年四月三十日現在・正会員以上・敬称略順不同)

### 名譽會員

百万円

(株)ハシモト 防府市江泊  
学校法人メイウシヤマ学園 港区六本木

山中 祥弘 港区六本木  
ジニー牛山 港区六本木

平野 禮子 町田市成瀬台  
平野 正人 町田市成瀬台

平野 俊二 渋谷区千駄ヶ谷

### 特別會員

五十万円

神田 義満 防府市宮市町  
寺西 直緒 岡山市北区  
(有)川口塗装店 防府市新田

スナックのん 防府市車塚町  
(有)やすむら 防府市田島

KYOTAKIグループ 周南市川手  
共立工業(株) 宇部市朝日町

鈴木 英樹 防府市松崎町

### 有効會員

三十万円

吉末ガラス 防府市上天神町  
山根 伸太郎 廿日市市津田

### 十万円

秋本社会保険労務士事務所 防府市桑山  
(株)米本重建 防府市大崎  
川本 重雄 熊毛郡平生町

### 正會員

六万円

森重 隆文 防府市八王子  
酒向 育宏 広島市東区

五万円

犬塚 要二 防府市鋳物師町  
マルマ宝石 防府市栄町  
(有)秋本経営企画 防府市桑山

四万円

小橋 直史 防府市新橋町  
瀬野 健治 防府市天神  
田村 節子 防府市松崎町

三万円

アバーサリー観光 山口市秋穂東  
大田 夢華 防府市向島  
南 舞 防府市江泊

島中 美沙 防府市岩島  
渡邊 奈々葉 防府市江泊  
浜田 璃奈 防府市西仁井令

三芳園茶舗 防府市車塚町  
(株)エミナス防府支店 防府市八王子

北村 和久 山口市中央  
国本 弘 防府市多々良  
有富 健 防府市戎町

木本 辰彦 防府市平和町  
榎谷 満雄 防府市千日  
中本 淳 静岡市清水区

高橋 良祐 相模原市南区  
KYOEI LOGIC 湯沢市裏門

看や左近 防府市緑町

# 山口県伝統工芸現代美術工芸奉納作品展

期間・令和七年  
十二月二十五日より

令和八年一月十五日

場所・歴史館

作品展には萩焼、赤間硯、漆、金工、竹細工そして藍染に至る作品四十点が奉納されました。

また奉納作品展に先立ち十二月十五日奉納奉告祭が斎行されました。併せ茶室芳松庵にて一〇〇年大祭時に奉納された作品を茶室芳松庵に展示し、この度、ご奉納頂いた作家の皆様にご覧頂きました。



奉納奉告祭(御殿にて)

千百年大祭でも作品を奉納された萩焼作家の方は「昔、師事した父から神社に奉納することの大切さについて『自分の作品を売ってもらうことは嬉しいことではあるが、その作品がその後売買されたり人手に渡るなど、どこに行ったか分からなくなることは多い。しかし、神社に奉納すると、自分の作品が、いつまでもそのままの姿で残る』と言われたことを思い出しました。今日は二十五年前の作品を通し、当時の自分自身と向き合える良い機会を得ることができ、父の教えの意味をようやく理解することができました」と語られました。

十二月十五日二十五年前の作品をご覧になる参列者



## 奉納者ご芳名(順不同、敬称略)

- |         |           |
|---------|-----------|
| 吉賀 将夫   | 松尾 藻風     |
| 十三代三輪休雪 | 岡田 泰      |
| 大和 保男   | 松尾 優子     |
| 兼田 昌尚   | 上田 敦之     |
| 岡田 裕    | 兼田 佳炎     |
| 堀尾 信夫   | 田原 崇雄     |
| 坂倉 一溪   | 渋谷 英一     |
| 新庄 貞嗣   | 安原 勝實     |
| 日枝 玉峯   | 坂倉 善右衛門   |
| 大井 正則   | 玉村 登陽     |
| 大和 祐二   | 調 喜美子     |
| 大和 稔    | 樋口 大桂     |
| 田原 陶兵衛  | 藤井 謙次     |
| 大和 努    | 大井 美智子    |
| 田中 講平   | 厚東 孝明     |
| 高原 祐二   | 松浦 洞心     |
| 俣山 美知子  | 十六代坂倉新兵衛  |
| 日枝 陽一   | 十四世坂高麗左衛門 |
| 岡本 佳子   | 間鍋 竹士     |
| 野坂 和左   | 館村 秀子     |

※希望者は図録(千円)をお求め頂けます。

みんなに知ってほしい

## 防府の

## 菅公精神

天神信仰数々あれど  
防府の天神さまは  
正直の神

### ①天神信仰はいろいろ

菅原道真公をお祀りしている神社は全国にたくさんありますが、その祀られ方は芸能、雷神、怨霊、農業神、学問の神など多種多様で、創建の由来も各神社でそれぞれ違ってきます。この神様としてさまざまな顔をもたれていることは天神信仰の大きな特徴であり現在でも広く信仰される要因といえるでしょう。

### ②防府の天神さま

ここ防府は、道真公が大宰府に左遷の際に本州最後の寄港地として防府にお立ち寄りになられた土地、京都と地続きであるこの地で「無実の知らせ」を待ちたい



歴史観光特別講演会

「今も昔も天神さま」～兄弟わっしょい！裸坊一万人～

期日…令和八年一月十七日 場所…アスピラート

防府市制施行九十周年事業として開催され、約三百人が聴講。日本最初の天神さまの創建と御神幸祭(裸坊祭)の歴史を(重文)松崎天神縁起絵巻や地域の天神信仰を通して説明し、身近であるからこそなかなか知らなかった防府天満宮についての理解を頂く良い講演会となりました。

※会場では、防府天満宮の指定文化財である宝物のパネルや、松崎天神縁起絵巻のレプリカ等を展示しました。

●講演(1)「防府天満宮の歴史と御神幸祭」

講師／越智 宣彰(防府天満宮権禰宜・学芸員)

この地に「無実の罪」が届くことを願った菅原道真公の想いを成就するため、防府の人たちが絆の証として毎年「無実の罪」を奉告するという御神幸祭のルーツについて話した。

●講演(2)「これぞ天神信仰の真髄！」～松崎天神縁起と地域の信仰～

講師／鈴木 幸人(大阪天満宮文化研究所、元北海道大学准教授)

当初、天神信仰は京都が中心であったので天神縁起絵巻は北野天満宮の絵巻を模写したものが主流であった。しかし天神信仰が地方にも広がる中、初めて地方に鎮座する自社の創建を盛り込んだ松崎天神縁起絵巻は、天神信仰の広がる過程を示す先駆けの絵巻であるとその価値を話した。

●トークセッション

パネリスト／松村 邦洋さん(タレント)・鈴木 幸人・鈴木 宏明(宮司)

コーディネーター／トクダトモヨ(ラジオパーソナリティ)

まず防府市内に残る古墳や国衙とも密接な関係にあった土師一族が防府天満宮創建に関わっていたという話から始まり、御神幸祭は寛弘元年(一〇〇四)天満宮創建より百年後に行われた勅使降祭を起源とする「道真公が無実であった事を知らせるお祭り」で、時代の流れで祭りの主導者は幾度も変遷があったが、防府に住む人達の「正直の神さま道真公」を慕う気持ちに変わりはなく、現在へと受け継がれていると話された。そしてセッションの最後には「防府の名前の由来は、周防国府を指す『周防中』であり天満宮とともに発展してきたのが、防府のまちなみ」と締めくくられた。

※七月二十一日にかけて防府市制施行九十周年事業として「菅原道真公歴史探訪クルーズ」が開催され、広島、愛媛、山口に伝わる道真公の足跡をたどりま。



右より池田豊防府市長・鈴木幸人先生・松村邦洋氏・鈴木宏明宮司・越智宣彰権禰宜(講演を終えて)



兄弟わっしょい！裸坊一万人！

今も昔も天神さま

歴史観光特別講演会

第二弾

と生まれ、お亡くなりの際には、道真公は「無実の知らせ」を待つために御霊となつて帰つて来られました。その御霊をお祀りする防府の天神さまは「ただひたすらに自らの正しさを信じ、真心を尽くせば必ずその思いは天に通ずる」という「正直」のお気持ちを顕した天神さまなのです。防府の天神さまに、決して無実の罪をさせた相手を恨み、自らの境遇を嘆き絶望し怨霊となつて復讐したいというお気持ちはありません。

③今も生きる菅公精神

そのお気持ちは現在でも語り継がれ、地元の小学校では、道真公が自身の誠実さと清廉な心を表わした和歌「心だに誠の道にかなひなば祈らずとも神や守らむ(心に誠意を持ち、正しい道を歩んでいれば、わざわざ神に祈らなくても、自然と神様が守つてくださるだろう)」を素読し学んでいます。学校教育にも防府の菅公精神が活かされています。

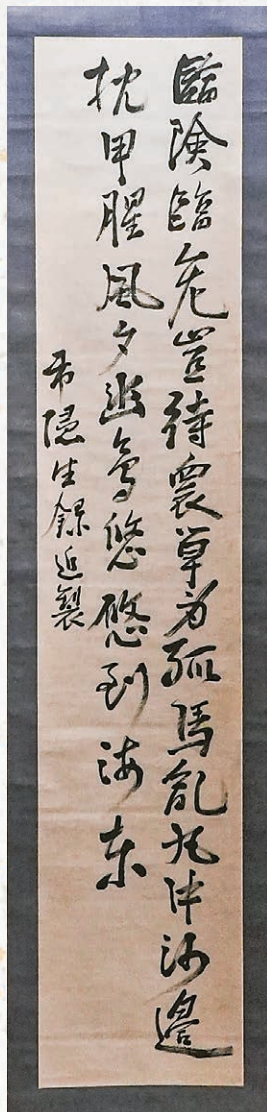
# 大祭記念行事報告

## 防府天満宮歴史館 晋作&望東一六〇年祭記念特別展 「高杉晋作と野村望東」展

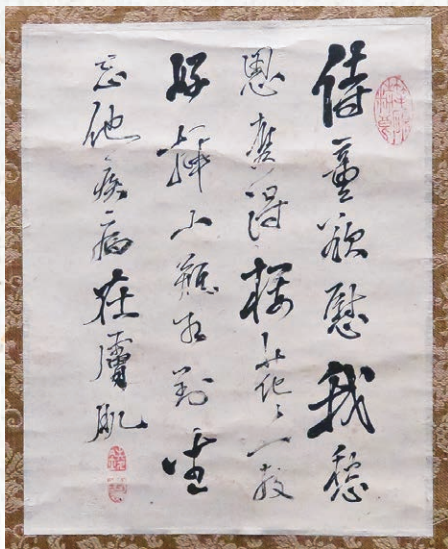
【前期】令和八年三月二十日～五月十七日  
【後期】令和八年九月四日～十一月八日三月二十日

歴史館顧問の一坂太郎先生によるギャラリートークを開催。道真公を心の支えとした幕末の志士たちですが特に信仰篤かった晋作と望東にスポットをあて、「至誠一貫の神 菅原道真公」を顕彰しました。

また、展示された晋作直筆書の解説として、書家の富永鳩山先生に書評いただきました（左の詩書二作品参照）。そのことにより、活字化された史料では感じることができない当時の晋作の思いや心情を感じることができました。



▲晩年の会心の書ですが、書き続ける力がないのか弱々しい線で、特に最後の数字文字は一文字書いては休んでいたことが伺えます。



▲病床の身ながら我が子が訪ねてきてよほど嬉しかったのでしょうか、墨をたっぷりつけて踊るような筆致に嬉しさがにじみ出ています。



▶展示解説書  
「高杉晋作と野村望東」  
（一坂太郎著 / 1,000円）

## 講演師 玉田玉秀齋師匠による 神道講釈

期日…令和八年三月三十一日  
場所…参集殿

御祭神菅原道真公と当宮の創建について、玉田師匠に特別にオリジナルの内容の講釈を作って頂き講演頂きました。

御祭神の天穂日命誕生から始まる神話の話からはじまり、道真公の御祖先である土師氏の祖である野見宿禰が埴輪を作ったエピソード、特に「土で物を作るのがとても上手い人、つまり土の師匠で土師！」など名前の由来を解りやすく講釈されました。

本神道講釈は、永職会四十周年記念事業として企画されたものです。五月十四日には、敬神婦人会総会でも講演を頂きました。



▲玉田玉秀齋師匠

※神道講釈とは神道や神社の由来、神話などその土地ごとのお話を講演師と呼ばれる人が語る日本の伝統芸能の一つです。



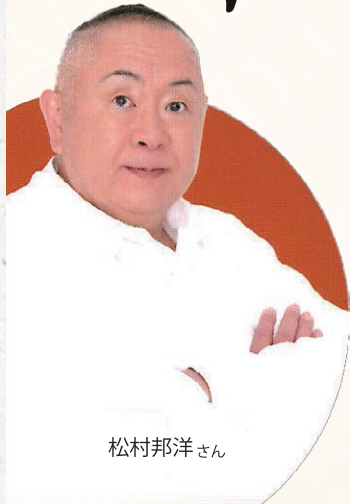
「二万人裸坊奉仕」を推進

あなたで1万人!!

市制施行九十周年を迎えた防府市並びに防府商工会議所では、裸坊をまちづくりの中心の一つに位置づけ、裸坊一万人プロジェクト実行委員会が設置されました。今後、この一万人奉仕達成は十年後百周年を迎える防府市の活力となり、二十五年後の御神忌一一五〇年式年大祭へ向け天満宮御祭神の更なる神威の高揚になるものと確信しております。

## 一万人裸坊奉仕 兄弟わっしょい

ボクもね、YouTubeで裸坊中継をしたことあるけど面白い祭りじゃね～



松村邦洋さん

県民は皆兄弟！裸坊は楽しいね！みんな元気いから



村岡嗣政  
山口県知事

あなたで1万人！



池田豊  
防府市長



裸坊奉仕一万人  
プロジェクト実行委員会 会長  
防府商工会議所  
会頭 羽嶋秀一

ごあいさつ

防府商工会議所では常に防府の商工業の発展と「まちづくり」を車の両輪と考え活動しております。その中で世界の動向や人材確保の問題、また国内に目を向けても少子高齢化は待ったなしの問題であります。これらの問題に直面する中で各企業では様々な対策を講じていらっしゃると思います。

それらの対策の一つとして「社内の気運を向上させる」ことも重要な要素だと考えております。スマホ、SNSが日常のインフラになった時代、利便性が高まる一方で人との関係が希薄になり「分かれあうこと」の機会が少なくなっている気がします。やはり企業は人が作るものではないでしょうか！私はこのような時代にこそ、飲食を共にしコミュニケーションを計る地域の祭りを先人の「知恵」として活用することも有効だと感じています。

そこで防府といえば防府天満宮の裸坊祭。「兄弟わっしょい」。一年に一度、老若男女、職の上下もなく、裸坊となりまた裸坊を応援し、社員一同帰属意識を高めることが諸問題に対応する「目に見えない力」となるのではないのでしょうか。

現在、防府商工会議所では市制90周年を迎えた防府市と共に「裸坊一万人奉仕を目指して～あなたで1万人～運動」を促進しています。この運動により防府市の交流人口も増加し、人が輝く企業で商工業が発展する防府のまちなるよう願っています。



▲AIさんの歌が受験生を勇気づけた

キット、サクラサク

1250機のドローンが  
夜空に舞う!!  
全国の受験生に  
応援メッセージが届きました。



▲人力車の旅人ガンブ鈴木さんは、ネスレ(株)の企画で北海道から防府天満宮までキットカットを配りながら受験生を応援し、AIさんのコンサートに合わせて到着するというミッションを見事達成した!

# キットカット 受験生応援キャンペーン2026

in 防府天満宮 2月4日 場所: 梅林駐車場



▲キャンペーン特別花回廊



▲会場の様子(梅林駐車場に特設舞台が組み立てられ、抽選で選ばれた2,500名が観覧した)

## 御神忌1125式年大祭記念事業進捗状況

### 車お祓い所移転並びに 末社参道整備事業に着手

参拝者増加に伴い、歩車分離し参拝者の安全を確保する為、春風楼前広場(客殿西側)に移転致します。また、現お祓い所周辺は、鳥居や末社標柱などを建立、石畳の敷設や紫雲石等も移設し、参拝者が社殿の裏参りや末社を巡拝できる環境を整えて参ります。

6月1日以降に交通安全祈願祭をご希望される方は、誘導看板に従い、装い新たなお祓い所へお越しください。



▲整備中の車お祓い所

### Instagram 写真コンテスト事業 作品募集中!

あなたの“天神様”を  
世界に発信しよう!

～1125年の歴史と輝きを未来へつなぐ～



大祭を奉祝して4期(春夏秋冬)に亘り開催!入賞者には賞金や素敵な賞品あり!たくさんのご応募お待ちしております。

詳しくは、チラシや当宮公式InstagramやHPをご覧ください。



# 崇敬会だより



去る五月一日に崇敬会大祭齋行。本年、当会は発足二十五周年を迎えました。これも偏に会員の皆様方のお陰と厚くお礼申し上げます。

当日は御殿にて祭典終了後、大専坊にて総会を開催。会の現状や式年大祭の進捗状況などを報告。規定表彰では防府市の脇正典様に十回参加の表彰がありました。その後参集殿にて、福岡を拠点に活躍するお笑い芸人ゴリけん氏による式年大祭記念「ゴリけんの諸説あります」〜必ず明日誰かに話したくなる〜と題した歴史講演が開催されました。



▲講演は一般を含む約百名が拝聴。吉田松陰や坂本龍馬等歴史上の人物にまつわる逸話を紹介し、皆が「エッ?」と思った瞬間「諸説あります!」とおきまりの文句を会場に投げかけ、終始笑いに包まれました。

当会は江戸時代より続く天神講という講社を母体とし、千百年式年大祭の前年、平成十三年に発足させて頂きました。以来多くの方々に、より天神様の御神徳と敬神崇祖の日本の伝統文化を広く正しく啓蒙して参りました。今後共会員の皆様方のお力を賜り、当宮の護持運営とより良い会の運営に努めて参ります。



▶祭典後、参列者へ大石段花回廊にて

## 岡 正朗会長 叙勲の栄に浴す

今春の叙勲にて、長年にわたる教育研究活動への多大な功績が高く評価され「瑞宝中綬章」を受章されました。総会にて巫女よりお祝いの花束が贈られました。誠にありがとうございます。



## 新規会員紹介

令和七年十一月以降入会の方々です。  
(順不同敬称略)

- 法人会員** 山口市秋穂東
- 特別会員** 山口市秋穂東
- 高野** 島根県出雲市
- 寺西** 岡山県岡山市
- 保坂** 大阪府大阪市
- 家族会員**
  - 福永 一生 岩国市川西
  - 藏本 栄治 山口市鏡鏡司
  - 長澤 智行 東京都江東区
  - 三浦 一洋 愛媛県伊予市
  - 古瀬 淳一 山口市大内御堀
  - 佐藤 定義 新潟県村上市
  - 木村 武美 熊本県合志市
  - 村上 雅幸 防府市仁井令
  - 井上 信義 東京都府中市
- 個人会員**
  - 藤井 智信 下関市片山みどり町
  - 田坂 幸一 広島県山県郡
  - 兩國 理行 防府市八王子
  - 品田 隆明 防府市華浦
  - 石井 新一 福岡県北九州市
  - 石井 君子 大阪府大阪市

## 第36回(令和7年) 天神おんな神輿写真コンテスト



●防府天満宮賞 題「クライマックス」防府市高井 町田 充江

- 山口県知事賞 「視線」防府市田島 佐鹿 健治
  - 山口県議会議長賞 「休憩中に」柳井市 上田 和夫
  - 防府市長賞 「おんな神輿の祭笛」下松市 橋本 裕幸
  - 防府商工会議所会頭賞 「粋と情熱(こころ)に満ちて」宮崎県延岡市 尾方 広宣
  - 防府観光コンベンション協会会長賞 「好きつちや 天神」宇部市 秦 保博
  - 防府天神祭振興会会長賞 「ごあ〜みんな行くよ!」防府市白道 中山 豊
- その他 入選作品 三〇点  
応募総数 一〇九点(応募者四十一名)  
たくさんのご応募有難うございました。

## ご結婚おめでとう

お二人の末永いお幸せをお祈り致します

令和8年	3月22日	菅原 遥己・緑
2月22日	佐々木 駿二・優子	
3月2日	福田 陽介・晴美	
5日	石橋 啓都・美紀	
7日	須永 将広・香	
21日	山田 普也・綾	
28日	宮岡 峻希・希美	
4月15日	ウイルコックス	
5月18日	ナサニエル・慶子	
19日	清水 健太・夏希	
24日	大谷 佳輝・愛美	
30日	田邊 正薫・朱里	
	清水 和音・もえ	
	藤本 将・志織	



※神前結婚式のお申込みは随時受け付けておりますので、社務所へお問い合わせ下さい。(TEL0835-23-7700)

## 防火訓練実施

(市消防本部主催)  
本殿火災を想定し、

通報から初期消火、参拝者避難誘導、文化財保護のための行動手順等、消防隊員と連携した消火訓練が行われました。職員一同防火意識の重要さを改めて確認致しました。



## 第一一五回牛替神事



▲神牛役当選者 藏本栄治様  
ご当選おめでとうございます。本年の御神幸祭にてご奉仕頂きます。宜しくお願いいたします。

## 日誌抄

(令和八年一月〜五月)

- 毎月1日、15日、25日は月次祭
- 毎月1日は朔日詣り(朝粥会)
- 毎月25日は天神市(縁日)、神道家月次祭まぼろばかふえ
- 12月23日 山口宇部空港・岩国錦帯橋空港受験合格祈願大絵馬設置
- 12月25日〜1月15日 伝統・現代美術工芸作品奉納作品展於歴史館
- 1月1日 歳旦祭
- 1〜3日 書き初め会、梅茶接待
- 1〜8日 天神おんな神輿写真展
- 5日 新始式、参集殿神殿初詣企業参拝
- 7日 七草粥の会(於参集殿神殿)、梅開花宣言
- 11日 真宮遙拝式
- 12日 弓始式
- 14日 鳥取空港受験合格祈願大絵馬設置
- 15日 米子空港受験合格祈願大絵馬設置
- 16日 一二年式年大祭奉賛会行事部会
- 17日 今も昔も天神さま講演ゲスト 松村邦洋様於アスレシアート
- 18日 牛替神事奉仕抽籤児童説明会
- 19日 市消防合同防火訓練
- 23日 月次茶会表流稲田宗専先生ご奉仕
- 25日 新年役員会
- 26日 牛替え神報新聞折込、敬神婦人会役員会
- 27日 31日〜2月1日 福豆頒布総代奉仕
- 31日〜3月末日 キットカット花回廊設置夜間ライトアップ
- 2〜3日 節分祭並第一一五回牛替神事
- 3日 歳男歳女開運招福豆まき並奉告祭、抽籤児童奉告祭
- 4日 キットカット受験生応援ドローンショー&歌手A.I.さんミニライブ
- 4〜10日 牛替神事福運者当籤番号券景品引換(4〜5日総代 景品交換奉仕)
- 7日 総代就任奉告祭(九行事区)
- 8日 第50回回防府お針祭
- 9日 裸坊二万人プロジェクト実行委員会於デザインプラザ防府
- 10日 牛替神事神牛当籤奉告祭・神牛引渡式
- 11日 紀元祭 人形感謝祭人形受付開始(2月28日迄)
- 12日 出世梅奉製作業総代奉仕
- 15日〜3月1日 第二十一回梅まつり(期間中土日敬神婦人会 甘酒接待、期間中全日尾中哲夫月間ゴルフダイジェスト30年記念原画展)
- 15日 梅まつり始祭稚児舞紅わらべ奉納、出世梅無料配布・山縣酒造梅酒試飲会
- 20〜22日 間鶴竹土作陶展、平井佳代布小もの作品展、手作りアークセサリーOlderアナタニハナラ
- 21日 幸せ写真隊着物モデル撮影会
- 21〜22日 池坊防府支部奉納生花展、櫻園山城屋茶舗京の陶磁器展、花結び展装道礼法さきの学院山口県
- 22日 梅花祭稚児舞紅わらべ奉納、出世梅無料配布・山縣酒造梅酒試飲会、萌えき会琴演奏会、天神芸術村、梅まつり茶会表流令月ご奉仕

天神様から「幸せます」  
※幸せますは山口の方言で「ありがたい(嬉しく思う)」との意味があります。

境内清掃奉仕等  
ご奉仕ありがとうございました。

4月20日〜5月6日 花回廊花ガラ摘み奉仕  
マツタ(株)防府工場様・敬神婦人会様・佐波中学校様・防府商工高校野球部様

奉納品  
ご奉納ありがとうございました。

毎月25日  
濁り酒(どぶろく)  
どぶろくカフェみずは様

野菜  
仁紡様

11月18日 防府天満宮の水(災害備蓄水100ケース) (株)丸久様

12月16日〜キットカット千個

1月1日 清酒「貴」二ケース

2月16日「出世梅酒」二ケース

2月23日 梅木植樹一本

2月28日 梅木植樹一本

3月4日 CG 絵画「キット、サクラサクよ」一点

3月10日 押し切り機 一個

3月21日 「台湾ランタン二対」

台湾嘉義県ご一行様





六月三十日(火)

十三時～  
十四時  
禍除祈願祭  
御田植祭(場所:歴史館前)

受付場所:客殿 初穂料:八千円



▲御田植神事



▲輪くぐり神事  
※同封の案内状をご覧いただき  
ご参加ください。

※御田植祭終了後、苗はご自身で苗をお取り頂き、  
お持ち帰り下さい。  
引き続き輪くぐり神事  
十六時～ 夏越大祓

七月一日(水)～七日(火)

七夕まつり

祭事行事予定

- 七月一日～七日 回廊内笹飾り、光の斎庭ゆいば
- 四日 七夕茶会 他
- 五日 筆まつり・七夕書道展表彰式他
- 七日 七夕祈願祭(初穂料:五千円)



▲光の斎庭(傘玉)



▼拝殿を彩る世飾りと和傘

※同封の短冊にもお願い事を書いてご奉納ください。神職、巫女が竹世に結び願いが叶うよう祈念します。

八月三日(月)～五日(水)

御誕辰祭

「御祭神」菅原道真公のお誕生日を  
お祝いするお祭り

祭事行事予定

- 三日～五日 万灯の夕べ、献灯・文芸ボンポリ・ピアガーデン他
- 三日 奉納清書展奉納奉告祭並表彰式、  
万灯祭、剣道大会
- 四日 豊穰祈願祭、古武道大会、柔道  
大会、夫婦円満祈願祭
- 五日 御誕辰祭当日祭、少年剣道大会、  
弓道大会、大花火大会



▲献灯ボンポリ



▲大花火大会



▲万灯の夕べ

九月五日(土)

鈴虫放生祭

(野村望東尼顕彰会共催)

「御神忌二二五〇年式年大祭奉祝」  
望東尼研究家谷川佳枝子女士並びに  
当宮歴史館顧問一坂太郎氏  
記念講演開催!

「平成二十八年(野村望東尼没後  
百五十年)より縁ある大車坊にて  
望東尼の御神霊をお慰めすると共に  
望東尼の顕彰と鈴虫坂の由来と  
なった鈴虫の放生を行います」



▲鈴虫の放生

# 令和8年 夏・秋 これからの祭事行事

十月十一日(日) 十月第二日曜日

花神子社参式

「大行司・小行司役が御神幸祭の無事斎行を祈る」  
大行司・小行司役が醸した一夜御酒を花神子をして奉獻する社参の式であり、約五  
〇〇名にも及ぶ優美な時代行列が本陣から社殿まで肅々と進みます。  
当日は、陸上自衛隊山口駐屯地音楽部による演奏会が開催されます。乞うご期待!!



十月二十八日(土) 十月第四日曜日

御神幸祭(裸坊祭)

菅公に「無実の知らせ」をお伝えし、御心をお慰めする壮大なお祭り



“あなたで  
1万人!!”

企業はもちろん、子ども会や各種  
団体、個人での参加も受け付けて  
おります。  
あなたの力で1万人を目指そう!  
御奉仕お待ちしております!



報賽祭(天神おんな神輿奉納)

十二月上旬

大祓詞浄書会(四回開催予定)

御神忌二二五〇年式年大祭奉祝 特別展  
晋作&望東一六〇年祭 高杉晋作と野村望東  
天神さまを「正直の神」と敬愛し心の支えとした幕末の志士「高杉晋作」と防府天満宮で志士たちの  
戦勝を願った野村望東に関する初公開史料を特別に展示。是非お越しください。  
後期:九月四日～十二月八日

SNSで  
防府天満宮と  
繋がろう



さかたり第117号  
令和8年6月1日発行  
発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029  
山口県防府市松崎町14-1  
TEL 0835-23-7700  
FAX 0835-25-0001



防府天満宮

検索

YouTube

facebook

X (旧 Twitter)

Instagram